

冬の山

生きもの・自然カードを当てはめてみよう。

のりしろ

これはなんだろう？

オオハクチョウの体の色はグレーと白色の2種類があるんだ。体の色がグレーなのが子供なんだ。生まれてから2年程で体は白色になるんだよ。体全体が白くて、クチバシの根本が黄色で先が黒くなっているのが大人だよ。

のりしろ

これはなんだろう？

夜行性のエゾフクロウは昼間はほとんど活動せず、木の幹の大きな穴にすることが多いよ。木の幹に大きな穴があったら離れた場所からそっと見てみよう。もしかすると、エゾフクロウが寝ているかもしれないよ。

のりしろ

これはなんだろう？

花のつぼみなどに空気中の水蒸気(すいじょうき)が付き、日の出前などの朝方、急激に冷やされると結晶(けっしょう)になるんだ。この氷でできた結晶は、じっと見ている間にどんどん大きくなって、とても神秘的(しんぴてき)だったよ。

のりしろ

これはなんだろう？

冬、落葉や枯葉の裏を見てみると虫たちが越冬(えっとう:冬を越すこと)していることがあるんだ。南側の太陽が当たる所よりも、湿り気があって気温が比較的一定な北側で見かけることが多かったよ。

のりしろ

これはなんだろう？

雪が積もった翌日は雪の表面が少し堅くなるので、キツネの足跡がハッキリと残っていることがあるよ。足跡をたどっていけばキツネに出会えるかも知れないよ。

のりしろ

これはなんだろう？

キベリタテハは、標高の高い場所では冬場は山小屋などに入ってくることもあるみたいだよ。雪の積もった暖かな日には、屋外で見られることもあるんだよ。



学んだことや気づいたことを書いてみよう

名前
.....

冬の山

カードを切りとって、もの知りシートに当てはめてみよう。



エゾフクロウ

フクロウは、ワシやタカと同じ猛禽類(もうぎんるい)の一種で、野ネズミや小鳥を捕まえて食べるんだ。獲物(えもの)は丸のみにすることが多いので、消化できない骨や羽は後で、かたまりにして、はき出すんだ。



オオハクチョウ

オオハクチョウは寒い時期になると、主に北海道や本州北部にやってくるんだ。外的から身を守るために、水面にうかんだままでねむることもあるんだよ。



キタキツネ

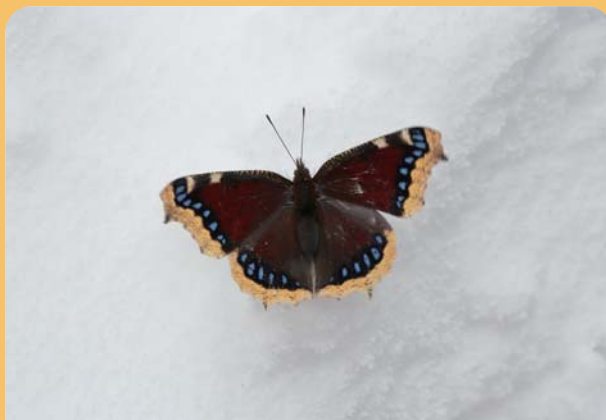
北海道で見かけるキタキツネはネズミやウサギ、昆虫や果実(かじつ)などを主な食料にしているんだ。最近では人里近くで見かけることがあるけれど、生態系(せいたいけい)を壊さないためにも、そっと見守ってあげてね。

きりとり



オオムラサキ

オオムラサキ(チョウ)の幼虫は、冬になると落葉や枯葉の裏で越冬(えっとう: 冬を越すこと)するんだ。落葉の中は適度に温度や湿度があるので、こたつみたいかな。1957年、日本昆虫学会で「国蝶(こくちょう)」にも選ばれているよ。



キベリタテハ

キベリタテハ(チョウ)は、花ではなく、樹液の出る木に集まることが多いよ。このチョウは成虫のまま越冬(えっとう: 冬を越すこと)することが出来るんだよ。



雪の結晶

雪の降る山で、木の枝が光っていたんだ。近づいてみるとキラキラとして綺麗だったので、虫眼鏡でみたら雪の結晶だったんだ。高い山で気温が低かったので、とけずに形が残っていたんだよ。



冬の海

生きもの・自然カードを当てはめてみよう。

のりしろ

これはなんだろう？

タラバガニは水温10度以下の北太平洋や北極洋、日本海などに広く分布（ぶんぷ）しているんだ。魚のタラの漁場に多くいることがあるため、この和名があるんだ。

のりしろ

これはなんだろう？

おだやかに風が吹いていて、寒さの厳しい朝、海で見ることがあるよ。太陽が昇り（のぼり）、海水に陽が差し込んだ瞬間（しゅんかん）は、「けあらし」が黄金色（こがねいろ）に輝いて（かがやいて）、とてもきれいだよ。

のりしろ

これはなんだろう？

ウミネコはカモメの仲間だけど、クチバシの先の赤と黒の模様と、尾の先が黒いことで違いが分かるよ。青森県や岩手県などに集団で繁殖（はんしょく）する場所があって、その場所は天然記念物にも指定され、保護されているんだよ。

のりしろ

これはなんだろう？

冬になるとアラスカやシベリアなどから、北海道や東北地方の沿岸部に飛んでくるんだよ。環境省（かんきょうしょう）によって絶滅のおそれがある野生生物として指定されているんだ。

のりしろ

これはなんだろう？

アワビは食べた海藻（かいそう）の種類によって、貝の色が変わってくるんだ。そして、その貝の形からは意外だけど巻貝の仲間なんだよ。約1200年以上も前の和歌にも詠（よ）まれているくらい、昔から身近な貝なんだね。

のりしろ

これはなんだろう？

ヤブツバキの種子には油が沢山含まれているんだよ。日本ではその昔、種子をとって油をしぼり、ツバキ油を作っていたんだ。昔の人たちはツバキ油を明かりや薬、化粧品などに使っていたといわれているよ。



学んだことや気づいたことを書いてみよう

名前
.....

冬の海

カードを切りとって、もの知りシートに当てはめてみよう。



けあらし

冬の寒い朝、海岸付近に行ってみると、海上に白く立ちのぼる霧(きり)のようなものが見えたんだ。気象用語(きしょうようご)では「蒸気霧(じょうきぎり)」と言うんだけど、「けあらし」とも呼ばれるんだ。



シノリガモ

冬の海で、一列に並んで泳ぐカモを見つけたんだ。遠くからは黒い体に見えるけれど、オスには赤茶色や白い模様(もよう)があるから、オスとメスの区別(くべつ)が付きやすいんだ。えさを取るために、海に潜る(もぐる)姿(すがた)がとてもかわいかったよ。



タラバガニ

タラバガニはカニと呼ばれているけど、生物学的分類(せいぶつがくぶんれい)ではヤドカリの一種(いっしゆ)なんだ。外見的(げんけん)にはカニは脚(あし)が計(か)10本、ヤドカリ類(るい)であるタラバガニは計(か)8本だから、区別(くべつ)がしやすいよ。

きりとり



ウミネコ

ウミネコのくちばし(くちばし)の先(せん)は、赤(あか)と黒(くろ)の模様(もよう)があり、目の周り(まわり)も赤(あか)いのが特徴(ていごう)なんだよ。まるでネコ(ねこ)のような声(こゑ)で鳴(な)くことからウミネコ(海猫(うみねこ))と呼ばれているんだね。



エゾアワビ

エゾアワビは、コンブ(こんぶ)やワカメ(わかめ)などの海藻(かいそう)を食料(しょくりょう)としているんだ。浅い岩場(あさいいわばた)でも見(み)かけることがあるけど、許可(きょか)なく獲(と)ってはダメ(だめ)だから、もし見(み)つけたら優(やさ)しく見守(みまも)ってね。



ヤブツバキ

赤(あか)い花びら(はなびら)の真ん中(まんなか)に黄色(きいろ)い雄シベ(おしべ)があって、とても綺麗(きれい)なんだ。ヤブツバキの蜜(みつ)を吸(す)うためにくちばし(くちばし)を入(い)れた鳥(とり)の顔(かほ)が、花粉(かふん)で黄色(きいろ)になっている姿(すがた)を見(み)たことがあるよ。



秋の町

生きもの・自然カードを当てはめてみよう。

のりしろ

これはなんだろう？

気温が下がる秋は体が赤くなるので、見つけやすくなるんだ。時に、田んぼや水たまりでは二匹（にひき）が連結したように飛びながら卵を産んでいるところを見かけることがあるよ。

のりしろ

これはなんだろう？

イチョウの葉には黄色と緑色の色素がふくまれている、夏の葉は強い日差しのために光合成が盛んになるから緑色をしているんだ。秋になり日差しが弱くなると緑の色素が少なくなって、黄色の色素が残るので葉が黄色くなっていくんだ。

のりしろ

これはなんだろう？

コスモスは「秋桜」ともよばれ、秋の季語としても使われているんだ。細長い茎（くき）は強い風が吹いて（ふいて）もしなやかに避けて（よけて）、なかなか折れないんだ。夏から秋にかけてあざやかなコスモス畑が日本各地で見られるよね。

のりしろ

これはなんだろう？

トノサマバッタは警戒心（けいかいしん）が強く、そう簡単に捕まえ（つかまえ）られないよ。外敵が近づくと地面を飛びはね、長い距離（きょり）では数十メートルも飛び、草などの見分けのつかない場所で身を潜める（ひそめる）んだ。

のりしろ

これはなんだろう？

山奥でも人が住み始めるといつの間にかスズメが飛んでくるほど、人に身近な鳥なんだ。家の近くでも、よく見かけることがあるよね。

のりしろ

これはなんだろう？

南極大陸を除いて、広く大陸に住んでいるチョウなんだよ。このチョウは移動性が高く、夏から秋にかけてどんどん移動するんだけど、寒さに弱いので、暖かい地域でしか、冬を越せ（こせ）ないんだ。



学んだことや気づいたことを書いてみよう

名前
.....

秋の町

カードを切りとって、もの知りシートに当てはめてみよう。



イチョウ

イチョウの木は燃えにくいと言われていて、神社などでは火災から守るために植えられたところがあるみたいだよ。この木はとても大きくなるので、地域によっては、シンボルツリーとなっていることもあるよ。



アキアカネ

6月ごろに平地の水田や池、沼などで羽化し、成虫になると山に向かい集団で飛んでいくよ。秋ごろになると山から集団で里に降りて来るんだ。夏は高い山で避暑(ひしょ)を楽しみ、秋になると体が真っ赤に色づいて、里に降りるんだ。



トノサマバッタ

トノサマバッタは日本のバッタの仲間では一番大きいバッタだよ。里山の空き地や河原など、開けた場所の草むらに多くいるんだ。よく見ると体が緑色の他にも、褐色(かっしょく)のものもいたんだ。

きりとり



コスモス

花の中心の丸い形のふくらみにオシベがあって、ここに花粉がいっぱいあるんだ。チョウやハチなどの体について運ばれ、他のコスモスのメシベに受粉してくれるんだ。小さな虫たちによってコスモスは子孫を残していくんだね。



ヒメアカタテハ

ヒメアカタテハは、日本のどこにでもいるチョウなんだ。また、このチョウは世界中のどこに行っても見る事が出来るほど、分布(ぶんぷ)が広いチョウの一つなんだよね。



スズメ

人が住んでいる場所で多く見かける鳥なんだ。山奥の工事現場に人が住みつくると、自然とスズメがやってくると聞いたことがあるよ。秋になると集団で行動するけれど、巣は地面に作らず、高い位置に作る習性があるんだって。



秋の山

生きもの・自然カードを当てはめてみよう。

のりしろ

これはなんだろう？

ナナカマドの名前は、炭にするためには7回燃やさなければならないとか、かまどに7回入れても燃えきらないからという説があるよ。北海道では街路樹に使われることがあるよ。雪が降っても実が赤いので見つけることができるよ。

のりしろ

これはなんだろう？

カモシカは、日本にいるウシ科の動物で特別天然記念物にもなっているんだよ。カモシカは目の下や、ひづめの間から分泌液（ぶんぴつえき）を出して木などにこすりつけ、なわ張りを示すマーキングをするんだよ。

のりしろ

これはなんだろう？

クモは巣を作って虫を捕まえ（つかまえ）るんだ。セミなどが巣にかかっても逃げ出せないほど「じょうぶ」なんだ。クモのお尻から出す糸はくつつく糸とくつつかない糸があり、巣を歩く時にはくつつかない糸をわたっていくんだって。

のりしろ

これはなんだろう？

キノコはミズナラなどの古木の根元に生えることが多いんだ。毎年同じ場所に出ることが多いので、数年間は見る事が出来るよ。毒のあるキノコもあるので、種類が分からないキノコはさわらないでね。

のりしろ

これはなんだろう？

顔全体が黒くて丸く、白い帯のような模様があり、えんま大王の顔に似ていることからこの名前が付いているという説があるよ。秋が深まるにつれて昼間も鳴いているところを見かけることがあるんだ。草むらで探してみようね。

のりしろ

これはなんだろう？

雲海（うんかい）は、気温が低い時に、湿った（しめった）空気が空に登るとできるんだ。秋は昼と夜の気温の差が大きくなるので、雨上がりのように、湿度（しつど）が高いときに見ることができるかもしれないよ。



学んだことや気づいたことを書いてみよう

名前
.....

秋の山

カードを切りとって、もの知りシートに当てはめてみよう。



ジョロウグモ

クモは、巣にかかった虫が動く振動(しんどう)で、獲物(えもの)かどうかわかるんだ。メスのほうがオスより体が大きいので違い(ちがい)がわかりやすいよ。オスは獲物とまちがって、メスに食べられてしまうこともあるんだって。



雲海 (うんかい)

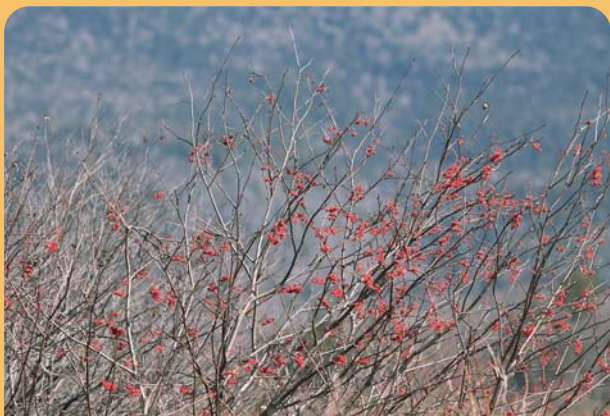
高い山に登るとき、雲海(うんかい)を見たかったので、事前に天気図を調べて行ったんだ。湿度(しつど)が高くて風のない冷えこんだ日に見ることが出来たんだよ。自然現象を見るには事前の下調べが大切なんだね。



カモシカ

初めてカモシカに出会ったのは、山を下りている時だったんだ。こわいのでじっと見つめているとカモシカもこちらをじっと見ていたけど、しばらくして、敵ではないと思ったのか、カモシカはお尻(おしり)を向けて去っていったんだ。

きりとり



ナナカマド

ナナカマドは、葉を落とすころ、実が赤く色づいてくるんだ。まわりの木の葉っぱが無くなると、ナナカマドの赤い実は一層あざやかに見えるよ。真っ赤な実は冬には鳥たちの大切な食料になるんだよ。



マイタケ

山登りの途中(とちゅう)、大きなミズナラの木の下で休んでいたら、その根元にキノコがあったんだ。表面は茶色で裏側は白かったので、写真をとって調べたらマイタケだったんだ。翌年も同じ場所に行ったらまた生えていたよ。



エンマコオロギ

秋、里山に出かけるとコロコロリーとも聞こえる美しい音色で鳴いているんだ。鳴いているけど、なかなかその姿を見つけることができなかったから、じっとして鳴く方を見ていたら、草むらの土の穴から顔を出してくれたよ。



夏の川

生きもの・自然カードを当てはめてみよう。

のりしろ

これはなんだろう？

この花は、清流や、川の上流、湧き水（わきみず）が出る冷たい水の川で見ることが出来るよ。冷たい川の中で白い花がゆらゆらと動いていて綺麗（きれい）なんだよ。

のりしろ

これはなんだろう？

水田や池、沼の浅瀬（あさせ）より少し深いところ、川の水草の中などにいるんだ。カマキリのような、鋭い（すどい）前脚（まえあし）が特徴で口先も鋭く、つかまえた昆虫に消化液を送りこんでその溶けた（とけた）肉液を吸うんだ。

のりしろ

これはなんだろう？

「オシドリ夫婦（ふうふ）」という言葉があるけれど、オシドリは仲の良い夫婦のたとえになっているんだね。カモの中では特に色がカラフルなのですぐに見つける事ができるよ。

のりしろ

これはなんだろう？

海に戻らず（もどらず）一生を河川で過ごすものをヤマメ、海に出て再び川に戻ってくるものをサクラマスと言うんだ。ヤマメは約30cmほどに大きくなるけれど、サクラマスは60~70cmほどになり再び川に戻るんだ。

のりしろ

これはなんだろう？

子どものころは花の上で生活しているんだ。ヤブキリと名前が付いているけれどヤブの中だけでなく、草原など明るい場所でも生活しているよ。小さいときは頭から背中にかけて一本の線があるよ。

のりしろ

これはなんだろう？

樹液の出る木を探すと見つけやすいよ。スズメバチもいっしょにいることがあるので、さされないよう注意してね。見つけたら木をやさしく手でたたくと、振動（しんどう）で地面に落ちることがあるよ。つかまえずにやさしく見てあげてね。



学んだことや気づいたことを書いてみよう

名前
.....

夏の川

カードを切りとって、もの知りシートに当てはめてみよう。



ノコギリクワガタ

雑木林（ぞうきばやし）の中で、スズメバチが木にとまるのを見たんだ。樹液が出ている木だったので、カブトムシ、オオムラサキなどいろいろな虫がいっぱい集まっていたよ。その中に大きな角（つの）を持ったノコギリクワガタがいたんだ。



オシドリ

初夏、川辺でオシドリを見たとき、色が綺麗で（きれいで）感動したんだよ。オスは、繁殖期（はんしょくき）になると色とりどりの模様（もよう）になるんだ。とても綺麗なんだ。



ヤマメ

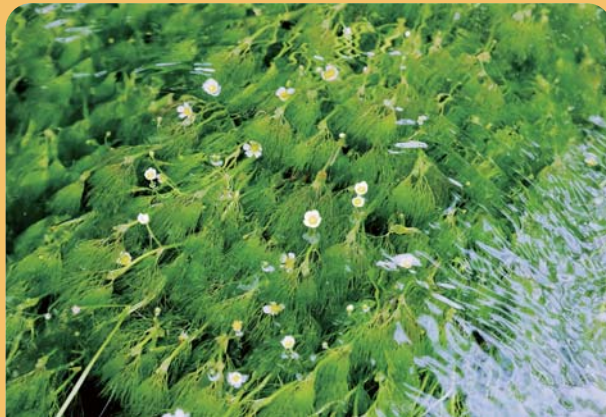
川で釣りをしていたら水面にセミが落ちてきたんだ。ヤマメはそのセミをひと飲みでくわえて水の中にもぐっていったんだ。ヤマメは水に落ちてくる昆虫も食べてしまうことがあるんだ。

きりとり



ミズカマキリ

川にいったらメダカが泳いでいたのだけれど、カマキリのような虫がそのメダカをカマで捕まえた（つかまえた）んだ。あとで図鑑（ずかん）を調べたらミズカマキリだったんだ。



バイカモ

バイカモを見つけたのは源流近くの、水が綺麗（きれい）で冷たい川だったんだ。綺麗な清流で多年草の白い花を咲かせるんだ。その形が梅の花に似ているので「梅の花のも」と書いてバイカモと言われるんだ。



ヤブキリ

川べりを歩いていたら花の上に虫がとまっていたんだ。近づいてみるとヤブキリという昆虫の子ども。まだ体が小さいので、自分の体より長い触角（しよっかく）を持っていたよ。



夏の海

生きもの・自然カードを当てはめてみよう。

のりしろ

これはなんだろう？

入道雲（にゅうどうぐも）は、気象用語では積乱雲（せきらんうん）と言うんだ。地上で温まった水分が蒸発して上空の冷たい空気に触れるとこの雲が現われやすいんだ。この雲のてっぺんは、10,000m以上と言われているんだよ。

のりしろ

これはなんだろう？

ミズクラゲは触手（しょくしゅ）に弱い毒を持っているので、さわらないでね。クラゲは英語ではジェリーフィッシュと呼ばれるんだよ。ゼリーのようなプニョプニョした体が特徴（とくちょう）だよ。

のりしろ

これはなんだろう？

カクレクマノミは日本の南方など暖かい海で見ることができるよ。体の白い横じまに黒い縁（ふち）がないんだ。同じクマノミの仲間「クラウンアネモネフィッシュ」という魚がいるけれど、頭の後ろの体の白い線に黒い縁があるんだよ。

のりしろ

これはなんだろう？

ヤシガニは昼間は主に岩や、穴の中に隠れて（かくれて）いるんだって。でも、生息数が多い島では、昼間にも見かけることができるんだって。パイナップルに似ているアダンの実や、ヤシの実が好きだと聞いたことがあるよ。

のりしろ

これはなんだろう？

このチョウの羽根は、あざやかなオレンジ色で、先端（せんたん）は黒色に白い模様が入っていてとても綺麗（きれい）なんだ。宮古島より南で見られるけど、台風（たいふう）に運ばれて、本来（ほんらい）いないところでも見られることがあるらしいよ。

のりしろ

これはなんだろう？

南の島ではハイビスカスを見かけるよね。ハイビスカスは5000種以上の種類があるとも言われているので見分けるのは難しいんだよ。ハイビスカスを使ってジュースを作ることもあるんだって。



学んだことや気づいたことを書いてみよう

名前
.....

夏の海

カードを切りとって、もの知りシートに当てはめてみよう。



入道雲（積乱雲）

夏の昼間、海の向こうで大きな雲がモクモクとなって、ちょうど飛んでいた飛行機の高さと同じくらいだったんだ。そしてこの雲を見ていたら、急に風が吹（ふ）いて涼しくなったと思った瞬間（しゅんかん）、雨が降りだしてきたよ。



スジグロカバマダラ

スジグロカバマダラはとても綺麗な（きれいな）チョウなんだ。幼虫の時期に毒を持つ植物を食べていて、成虫になってもそれが体に残っているの、鳥に食べられないんだ。小さなチョウも生き残るために必死なんだ。



ミズクラゲ

ミズクラゲはゆっくり海の中を泳いでいて、直径20cmほどの透明（とうめい）な体に四つの丸い輪を持っているんだ。クラゲの仲間は触手（しょくしゅ）に毒を持った物が多いので、絶対にさわらないでね。

きりとり



カクレクマノミ

イソギンチャクは魚も食べるけれど、カクレクマノミは食べられずに、一緒に暮らしているよ。カクレクマノミはイソギンチャクを、隠れ（かくれ）場所にする代わりに、食べ残しをあげたり、掃除（そうじ）をしているという説があるよ。



ヤシガニ

南の島で泊った（とまった）宿のおじさんが、ヤシガニがいるから見に行こうと言って、誘ってくれたんだ。おじさんの言う通り、砂の上にいたよ。メスが卵を産卵するとき水辺に来るそうで、成長するとほぼ陸上で暮らすんだって。



ハイビスカス

赤いハイビスカスには「常に新しい美」という花言葉もあるんだ。花の命が短く、1日で花はしぼんでしまうけれど、また別のつぼみから新たな美しい花が毎日のように咲くからなんだって。



春の町

生きもの・自然カードを当てはめてみよう。

のりしろ

これはなんだろう？

シジュウカラによく似た鳥に、エナガとコガラという鳥がいるんだよ。シジュウカラは首からおなかにかけて、まるでネクタイのような長く黒い模様があるんだ。だからすぐに見分けがつくと思うよ。

のりしろ

これはなんだろう？

農薬を使わずに害虫駆除(くじょ)をするために、テントウムシを使ってアブラムシを食べてもらう試みが、考えられているんだよ。からだの中に臭くて苦いアルカロイドという成分があって、鳥にも食べられにくいんだ。

のりしろ

これはなんだろう？

モンシロチョウは昔は日本にいなかったそうだけど、野菜を移入(いにゅう)したとき、日本中に広まったという説があるんだ。このチョウと同じ仲間にエゾスジグロシロチョウがいて、羽根にうす黒いスジがあるから見分けがつくと思うよ。

のりしろ

これはなんだろう？

江戸時代末期に、そめい村(今の東京都豊島区)の植木職人が、オシマザクラとエドヒガンザクラをかけ合わせて、ソメイヨシノと名付けたんだ。寿命は約60年と言われるけど、エドヒガンザクラは千年をこす木もあるよ。

のりしろ

これはなんだろう？

セイヨウタンポポは外国から日本にわたり、明治時代から各地で増えたんだ。茎の上のつぼみを包む細い葉のような物(そうほうへん)が反り返っているけど、ニホンタンポポはそり返らずにしぼんでいるんだ。

のりしろ

これはなんだろう？

ヒメオドリコソウの仲間にホトケノザがあるんだ。葉の形が丸く、葉と葉の間隔(かんかく)が広く、ピンクの花は上の部分に咲くよ。ヒメオドリコソウは葉と葉の間隔(かんかく)が短く、葉は三角形で葉の間からピンク色の花が咲くんだ。



学んだことや気づいたことを書いてみよう

名前
.....

春の町

カードを切りとって、もの知りシートに当てはめてみよう。



ナナホシテントウ

真っ赤な体に七つの黒い斑点があるんだ。きれいな体の模様のわりには、どう猛で、幼虫や成虫は枝に付いたアブラムシを食べてくれる益虫(人間にとって直接的または間接的に役立つ、昆虫の呼び方)なんだ。



ソメイヨシノ

ソメイヨシノは気象庁の開花予想に使われているよ。2月1日からのその日の最高気温を足して、合計がおおよそ600°Cをこえると開花するという説もあるんだ。家の近くでサクラを探して開花する日を予想してみると楽しいよ。



シジュウカラ

町中や公園でもよく見かける鳥で、山里にもいるよ。とてもかわいい鳥で人の近くまでやってくることもあるんだ。庭に木の実などのえさを置いておくと食べに来るから、その時はとても近くで観察できることがあるよ。

きりとり



セイヨウタンポポ

春になると道ばたや公園などで見られるよ。最初は黄色い花が咲き、そのあと、白い綿毛になって、風に乗ってふわふわと飛んでいくんだ。春先はまだ寒いので、地面にはいつくばるように葉がぺったんこになっているのが特徴だよ。



モンシロチョウ

春先から見かけられ、菜の花などアブラナ科の植物に卵を生むんだ。暖かいところだと、早ければ20日ほどでチョウになるので、モンシロチョウを見つけたら、その近くで卵や青虫、さなぎもいっしょに見つけることがあるよ。



ヒメオドリコソウ

赤紫の葉と、うすピンクの花がヒメオドリコソウの特徴で、青色の小さな花は、オオイヌノフグリだよ。同じ場所に生えている場合、ヒメオドリコソウはせ(背)たけが長いので、見分けが付きやすいと思うよ。



春の川

生きもの・自然カードを当てはめてみよう。

のりしろ

これはなんだろう？

お尻と尻尾(しっぽ)を振って、忙しそうに歩く姿がとてもカワイイよ。顔の頬(ほほ)が白いのがハクセキレイで、黒いのがセグロセキレイだよ。川の石の上や川辺近くで見られるけど、町や公園などでも見ることができるよ。

のりしろ

これはなんだろう？

ニホンメダカは、最近、北日本に生息するキタノメダカと南日本に生息するミナミメダカの2つに分類されたんだよ。メダカは童謡(どうよう)の「めだかの学校」でみんな良く知っているよね。

のりしろ

これはなんだろう？

カワセミは“空飛ぶ宝石”とよばれ、背中が青色、お腹がオレンジ色、喉(のど)や肩(かた)は白色なんだ。川の上流だけでなく、最近では下流の公園や池などでも見られるよ。枯れ枝によくとまっているからそっと見てね。

のりしろ

これはなんだろう？

フキには、雄株(おかぶ)と、雌株(めかぶ)があるんだ。つぼみが大きく開いているのが雄株(おかぶ)で、小さく開いているのが雌株(めかぶ)なんだよ。つぼみは古くから山菜として食べられていておいしいよ。

のりしろ

これはなんだろう？

春から見る事が出来るトンボで、川が流れる山のふもとの沼地や田んぼ付近にすることがあるんだ。シオヤは漢字で塩屋と書き、オスが体全体に白い粉をふくことにちなんで名付けられているんだよ。

のりしろ

これはなんだろう？

ニホンアマガエルとよく似たカエルにシュレーゲルアオガエルがいるんだ。ニホンアマガエルは鼻から目の後ろの耳まで一直線の線があるけど、シュレーゲルアオガエルには線や模様が無く、鼻先がとがっているんだ。

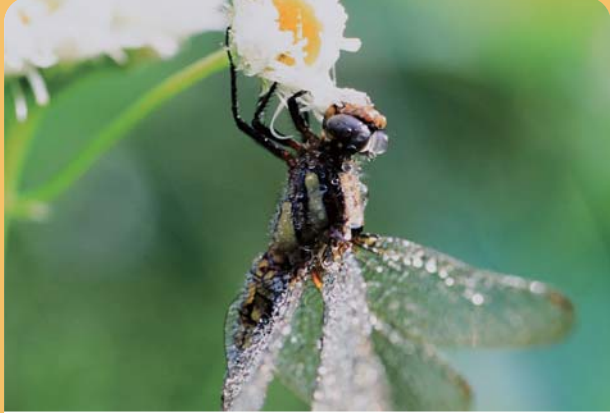


学んだことや気づいたことを書いてみよう

名前
.....

春の川

カードを切りとって、もの知りシートに当てはめてみよう。



シオヤトンボ

昨日は土の上でひなたぼっこをしていたシオヤトンボが、今日は花にとまっていたんだ。花やトンボに水のしずくが付いていて、とてもきれいだったよ。



ハクセキレイ

川の近くに止まっていた車のドアミラーにハクセキレイがうつっていたんだ。自分の姿を、なわ張りに入ってきた、敵の鳥だとかんちがいして、ミラーを攻撃(こうげき)していたんだ。なわ張り意識が強い鳥なんだね。



カワセミ

カワセミは、とてもきれいな色の鳥なんだ。川の枯れ木の枝にとまったら、すぐに飛び立って水中の魚をめがけてダイビング。すごいね。いつも魚をつかまえられるわけではなく、失敗することもあるんだ。

きりとり



ニホンメダカ

昔は、小川や池に行けばメダカをよく見かけたんだ。しかし、最近はとても数が減っていてニホンメダカの保護活動も行われているんだ。ある公園でメダカを見つけた時には、じっとそばを離れずに観察したよ。



フキ

春、川のほとりや土手でフキを見つけることがあるよ。地下の茎や根から花をつける茎が伸び出してきた、これをフキノトウと呼んでいるよ。



ニホンアマガエル

冬眠から目をさますと、川の近くや畑の湿った場所の中から出て来るんだ。そして、雨が降りそうな時などにオスが鳴くんだよ。だからアマガエルとよばれるんだね。みんなには鳴き声はどんなふうに聞こえるかな？

